



あるいてゆこう祇園祭  
lexicon.jp

1: 長刀鉾、2: 保昌山、3: 岩戸山、4: 太子山、5: 油天神山、6: 芦刈山、7: 伯牙山、8: 綾傘鉾、9: 鶏鉾、10: 白樂天山、11: 木賊山、12: 四条傘鉾、13: 郭巨山、14: 月鉾、15: 函谷鉾、16: 孟宗山、17: 占出山、18: 霞天神山、19: 蟻螂山、20: 船鉾、21: 大船鉾、22: 放下鉾、23: 南観音山、24: 北観音山、25: 八幡山、26: 鷹山、27: 鈴鹿山、28: 役行者山、29: 黒主山、30: 鯉山、31: 布袋山、32: 浄妙山、33: 橋弁慶山、34: 山伏山、35: 菊水鉾、と順番に山鉾地図に沿って遠回りしながら回るのは、同じ鉾の前を2度通らずに、すべての山鉾を一巡する方法は他にもあるでしょうが、この回り方を線で結ぶと、長刀鉾の図になるでしょう。ご利益もありません。ちなみに、3番に回ることを提案した岩戸山は、実は、蟻螂山の後に、西洞院通を松原通まで下り、一筋東の新町通を再び北に上って、岩戸山、船鉾、と回るのが本来の提案するべきまわり方のように思います。今回は、保昌山から高辻通を進んでいると、岩戸山のにぎやかさに心惹かれたため、3番目にのぞいてみたのです。にぎやかさにのぞいてみるとは、まさに岩戸山らしいということで、3番で紹介することにしました。